



阿見町

阿見町社会福祉協議会
Ami Welfare Information

しゃきょうだより

第135号

【編集・発行】

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
令和3年10月22日発行

阿見社協

検索

【事務局】

〒300-0331 阿見町阿見4671-1
総合保健福祉会館(さわやかセンター)内
E-mail: fukushi@amishakyo.or.jp
URL: <http://www.amishakyo.or.jp>



中学生いきいき介護教室
体験から学ぶ「福祉のこころ」

特集：災害に備える社協



近年、全国各地で大きな自然災害（地震、風水害など）が多発しています。社会福祉協議会ではそれらの災害の発生に備え、様々な取り組みを行っています。



「被災者とボランティアをつなぐ」 災害ボランティアセンターの仕組み

災害ボランティアセンターとは

災害時に設置される、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ、運営されています。



被災地・活動現場
「困ったこと」
「手伝いをお願いしたいこと」

ニーズ受付

- 被災地で困っていること・支援を必要としていること（ニーズ）の調査・収集を行います。



情報

道路状況や家屋の状況など、現地についての情報の集約を行います。



ボランティア受付

活動を希望するボランティアの受付を行います。ボランティア活動を希望する人は、まずは災害ボランティアセンターを訪れ、状況把握や活動の準備をすることになります。

ボランティア「自分にできることはないかな？」



資材・地図

活動のために道具が必要な場合、準備して貸し出します。また、ボランティア先の場所の伝達を行います。



マッチング

被災地の要望（ニーズ）とボランティアの調整を行い、両者をつなぎます。



報告・記録

活動が終了したら、状況や継続しての支援が必要なことなど、留意事項を整理して記録します。



被災地の状況によっては、受け入れるボランティアに制限がある場合や、感染症拡大防止に留意しての運営となる場合があります。必ずボランティアセンターへ事前に確認の上、活動に参加してください。

※写真は、平成28年・29年に実施した災害ボランティアセンター設置運営訓練のものです。

こんな取り組みもあります

災害派遣福祉チーム (DWAT)

DWAT は、災害派遣医療チーム (DMAT：医師や看護師らで構成された、災害等の緊急時に急性期から活動できる専門的な訓練を受けた医療チーム) の福祉版です。

令和2年2月、茨城県でも県・社会福祉協議会・福祉関係団体間において、派遣に関する基本協定の締結が行われました。

災害時において、高齢者や障害がある人・子どもなど、配慮が必要な方が、避難所での二次被害（生活機能の低下や要介護度の重度化など）を防ぐため、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネジャーなどの福祉専門職がチームとなって派遣され、福祉支援を行います。

令和3年9月17日から始まります

いばらき災害ボランティア登録

災害時のボランティア活動を迅速かつ円滑に行えるように、ボランティア登録を開始します。

登録いただいた方には、災害ボランティア活動に役立つ情報をメールで発信します。

- 平時は…災害ボランティア関連イベント情報など
- 災害時には…災害ボランティアセンターの開設情報
災害ボランティア募集開始情報の発信など

- ・登録の対象者は15歳以上となります。
- ・登録にあたっては、メールアドレスが必要です。
- ・本制度は、茨城県及び県社会福祉協議会が共同で実施します。

詳細につきましては、阿見町社協へお問い合わせください。



このマークがついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

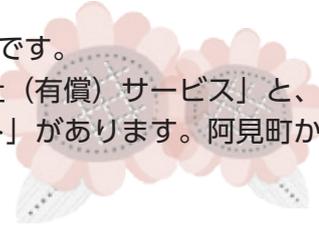
社協事業案内



ひまわりサービス

ひまわりサービスは、町民同士の助け合いによる会員制の福祉サービスです。

高齢者や障害のある方などに、簡単な家事のお手伝いをする「在宅福祉（有償）サービス」と、お子さんのお預かりなど、子育てのお手伝いをする「ファミリー・サポート」があります。阿見町からの委託を受け、町社会福祉協議会が運営しています。



	在宅福祉（有償）サービス	ファミリー・サポート
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の支度 ・ 衣類の洗濯、補修 ・ 住居等の掃除 ・ 買い物 ・ 通院付き添い など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育施設の保育開始前や終了後の子の預かり ・ 保護者の外出時の子の預かり ・ 保育施設までの送迎（車に乗せての活動はできません） ・ 産前産後の家事援助
利用できる方（利用会員）	おおむね 65歳以上の高齢者、障害者、母子父子家庭	小学校6年までのお子さんを持つ保護者、妊産婦
協力してくれる方（協力会員）	町内に住所を有する、所定の研修を修了した 20歳以上75歳以下の方。心身とも健康で、サービスに対して理解と熱意のある方。	
利用時間	7：00～19：00	7：00～21：00
利用の流れ	① <u>問い合わせ</u> まずはご連絡下さい。希望内容をお聞きます。 ② <u>登録</u> 利用会員の登録が必要です（登録無料）。 ③ <u>顔合わせ</u> 事務局と利用会員と協力会員で打合せをします。 ④ <u>利用当日</u> 協力会員が依頼された活動を行います。	
料金	1時間 600円 事前に利用券を購入していただきます。料金は利用券で支払います。	1時間 400円 （お預かりするお子さんが1人増えるごとに1時間300円追加） 活動終了後、現金で支払います。



協力会員募集中！

協力会員として活動していただける方を募集しています。助け合いの活動にご興味のある方、詳しく内容を知りたい方、是非お気軽にお問い合わせください！



【問い合わせ】 ひまわりサービス 887-8124



このマークがついている事業は社協会費が活用されています。

社協事業案内



日常生活自立支援事業・ふれあい電話訪問事業 合同研修会

7月16日（金）さわやかセンターにおいて、令和3年度合同研修会を開催しました。

今回は講師として、傾聴を広める団体「アクティヴリッスン」の代表、澤村直樹氏をお招きして『相談援助の傾聴の基本・応用』をテーマに講話をしていただきました。澤村氏の研修は3度目となりますが、毎回大変好評で、寄り添い大切に聴く傾聴の基本を分かりやすくお話いただき、短い時間での開催でしたが有意義な研修となりました。



傾聴を広める団体「アクティヴリッスン」
代表 澤村 直樹 氏

支援員・訪問員の活動内容

日常生活自立支援事業



認知症の高齢者や知的・精神的に障害のある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理、書類の預かりサービスなどを行い、日常生活を支援します。

例として、普段使うお金の出し入れや支払いのお手伝いや大切な通帳や印鑑、権利書などのお預かりをしています。

- 対象：認知症の高齢者や知的・精神的に障害のある方など、判断能力が不十分な方
- 利用料金：日常的金銭管理サービス等利用料
1時間1,100円
書類預かり **1か月500円**
交通費（移動距離に応じて実費請求）

*生活保護を受給されている方は利用料が免除になります。

ふれあい電話訪問事業



経験豊かなボランティアが電話で健康状態や日々の様子、生活上の不安などをお聴きしながらお話し相手をさせていただく、ふれあい型の電話サービスです。状況に応じて安否確認し、関係機関にお繋ぎします。秘密厳守で安心してご利用いただけます。

- 対象：町内在住の65歳以上の一人暮らし高齢者・日中独居・高齢者世帯の方
- 実施期日：火曜日・木曜日
*午後1時30分～午後3時の間
(祝日・年末年始を除く)
- 頻度：月に1回くらい
- 利用料金：無料でご利用いただけます

*コロナ禍の影響で、ご自宅で過ごされる時間が増えています。ほんのひと時のお時間ですがふれあい電話で楽しくお過ごしください。

【問い合わせ・申し込み】 **887-0084**



このマークがついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

社協事業案内



中学生いきいき介護教室

本事業は、地域のボランティアによる支え合う地域社会づくりを推進するため、中学生の介護予防に関する意識の啓発を目的として実施しています。
 今回は町内の三中学校から、延べ47人の中学生の皆さんの申し込みがあり、介護や福祉に関する知識を深めました。



第1回 「高齢者についての理解」

講師：茨城県立医療大学 本村美和先生、斉藤瑛梨先生

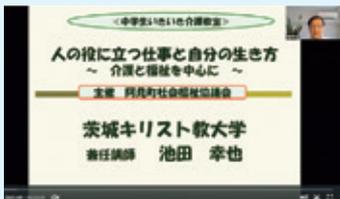
見えにくさや聞こえにくさの体験を通して、相手の気持ちや立場をより理解し、寄り添って接することを学びました。
 また、認知症について学び、周りの人がどのように接したらよいかについて考えました。



第2回 「ボランティア講座 ～私たちにできること」

講師：茨城キリスト教大学 兼任講師 池田幸也先生

ボランティア活動とは、自分の意思で誰かを支えるために進んでする活動です。「ボランティアに関心がある」「やってみたい」という皆さんが参加してくださり、自分たちが興味があることが、ボランティア活動にどのようにつながるか考えました。



第3回 「人の役に立つ仕事と生き方～福祉と介護を中心に」

講師：茨城キリスト教大学 兼任講師 池田幸也先生

福祉や介護に関わる仕事とそのやりがいについて学びます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。
 現在、参加を予定していた皆さんに講座の内容を伝えるために映像資料の準備中です。

【令和3年度 行政区主催の敬老会について】

令和3年度行政区主催の敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから、また参加者の皆様の健康と安全を第一に考え、開催中止とさせていただきます。

なお、敬老会中止に伴い今年度も特例として、対象者の皆様には、町からお祝いの品として、コンビニエンスストアなどで使えるクオカード千円分を送付させていただきましたので、ご利用いただければ幸いです。

また、下記の敬老会表彰者の皆様には、町からの表彰者記念品を区長の皆様のご協力をいただき、お届けをさせていただきました。

対象者の皆様には、いつまでもお健やかに過ごされますことをお祈りいたします。

※75歳以上の方（75歳は当該年度中（4月1日～3月31日までの間）に75歳になる方）で、
 令和3年8月1日現在阿見町に住民登録があり在宅でお過ごしの方

令和3年度敬老対象者(75歳以上) 6,975名		令和3年8月1日現在	
敬老会 表彰 者 内	米寿 88歳	長寿 100歳	初高砂夫妻 80歳以上
	214名	9名	121組

ボランティア活動



「町内小中学校プールへのEM投入」 阿見緑の会

EM（有用微生物）とは??
…乳酸菌や酵母など、人間に害のない、よい働きをしてくれる微生物の集まりです。



阿見緑の会では、EM を利用し、環境を守る活動を続けており、その一環として、毎年町内の小中学校のプールへのEM投入を行っています。

微生物がプール内のヘドロやヌメリを分解し、悪臭の発生を防ぎ、また、汚れを落とすのも簡単になります。

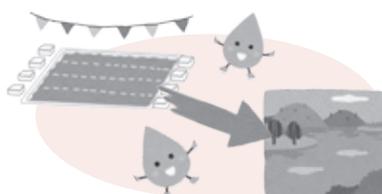
これまでは活動を通して、児童・生徒の皆さんに環境をよくする取り組みを紹介していました。昨年度からは人が集まるのを避け、夏休み期間に活動をしているそうです。

この日は、EM 活性液300 リットルを準備し、小学校のプールに投入しました。



この活動のほかにも、EM を利用した肥料を使用し、若栗地区で花壇づくりにも取り組んでいます。季節の花を育てているので、ぜひ多くの方に見に来てほしいとのことです。

手際よく作業をするみなさんの真剣さと、作業後の笑顔がとても印象的でした。



プールから流れた水はEMを含んでおり、清明川を通して霞ヶ浦をきれいにすることにつながることが期待できます。

ありがとうコーナー



ご協力ありがとうございます。
令和3年7月1日～9月30日（敬称略）

阿見町善意銀行

匿名	携帯用アルコールジェル他
匿名	玄米 60Kg
匿名	紙おむつ 5ヶ
湯原 直人	10,000円
宮本 英子	紙おむつ、パット 8ヶ
匿名	427円

使用済み切手・書き損じ葉書収集

會田 朋子	斎藤 孝男
阿見手話サークルたんぽぽ	阿見町役場 健康づくり課
阿見町役場 商工観光課	阿見町役場 生活環境課
NPO法人いりどり	匿名 5名



使用済み切手の収集について
使用済み切手は、

- ◎切手のまわりを1cmほど残して
- ◎消印、切手のギザギザが残るように切り取るようにしてください。

回収した使用済み切手は茨城県社協でとりまとめられ、その収益は県内のボランティア活動に役立てられています。

下記の切手は、換金することが出来ず、処分の対象となってしまいます…

切手の周りに余白がない。
切手のギザギザや消印が切れている。

切手が破れている。

回収していただいた使用済み切手が広く役立てられるために、今一度ご確認ください。

よろしくお預かります!

ボランティア活動



給食サービス

本事業は、65歳以上の町在住の虚弱なひとり暮らし高齢者等に対して、栄養バランスの取れた食事を提供することにより「食」を通して在宅での生活を支援することを目的とします。たくさんのボランティアのみなさんに参加していただき、支えていただいている事業です。

○調理ボランティア

社協の栄養士が季節感のある献立を作成し、ボランティアサークル「おむすびの会」の皆さんが手作りしています。毎回、約150食のお弁当を20人で手際よく調理し、盛り付けも工夫しています。



○掛け紙ボランティア

現在、町内5つの小学校（阿見小・君原小・第一小・舟島小・あさひ小）の皆さんが、お弁当にかける「掛け紙」を作成しています。季節のイラストや学校での出来事などを伝えるお手紙が利用者のみなさんに大変喜ばれています。



○配送・訪問ボランティア

受け取ったお弁当を利用者さん、または訪問ボランティアさんのお家へ届けます。

お弁当は必ずご本人に直接お渡ししています。この直接のやりとりが利用者さんにとっても、ボランティアさんにとっても楽しみにつながっているそうです。ふれあいが本給食サービスの一番の特徴です。



配送ボランティア募集中!!

【活動日】 毎月第2・4水曜日
(※7・8月はお休み)

【時間】 午前11時～12時頃

ボランティア活動に興味がある方、人と関わるのが好きな方、興味のある方はお問い合わせください。

☆男性も活躍中です☆



【問い合わせ】 地域福祉係 **887-0084**

ボランティア連絡会

7月18日に第2回目の会員交流会を行いました。今回はボラ連加入サークル「霞帆の会」の協力を得て、お茶やお華についてのお話を伺いました。次回は秋の散策を予定しております。自粛の期間を経験したからこそ、人とのつながりを保つことの大切さを実感したところ。感染拡大状況に留意して、今自分たちができることを模索していきたいと思っています。



ボランティア講座・参加者募集

「はじめてのLINE・ZOOM会議講座～コロナ禍のボランティア活動を考えよう」

感染症拡大の影響を繰り返し受ける中、オンラインの活用が注目されています。「でも、なんだか難しそう・・・」と思っている、初めての方向けの講座です。オンライン会議の基本的な機能について知り、つながりを絶やさないボランティア活動の方法について、みなさんで考えてみませんか？



日時 令和3年11月27日(土) 10:00～12:00 (受付9:45)

場所 吉原交流センター 2F 吉原ホール

対象 町内在住・在勤で、講座内容に興味がある方 (定員20名)

講師 NPO法人いばらきIT普及協議会

◎参加を希望する場合は、11月15日(月)までに、下記へご連絡ください。

【問い合わせ】 地域福祉係 **887-0084**



社協からのお知らせ



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

一般募金10月1日～12月31日 歳末募金12月1日～12月31日

今年も赤い羽根をシンボルとした「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から全国一斉にはじまりました。毎年みなさまのあたたかい善意のご協力に、厚く御礼申し上げます。みなさまからお寄せいただいた募金は、子どもたち、高齢者、障害のある方への支援や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援など、町内のさまざまな福祉活動に役立てられています。12月1日からは歳末たすけあい募金運動がはじまります。多くの寄付者のみなさまと、募金ボランティアのみなさまのご協力によって「じぶんの町を良くするしくみ。」は推進されています。コロナ禍においても「つながりをたやさない社会づくり」に努めてまいりますので、引き続き赤い羽根共同募金運動へのご支援ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



10月4日(月)に阿見町役場前にて、会長らによる街頭募金を行いました。たくさんのみなさまから募金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

赤い羽根「寄付つき自動販売機」のご案内

阿見町共同募金委員会では、飲物が購入されると売上の一部が赤い羽根共同募金へ寄付できる「寄付つき自動販売機」の設置を推進しております。自動販売機の新規設置や入替設置をお考えの際は、「寄付つき自動販売機」の導入を、是非ご検討いただきますようお願いいたします。詳しくは本会ホームページをご覧ください。



【問い合わせ・申し込み】 887-0084

総合相談

心配ごと相談 (予約不要)	
相談日	毎週水曜日
時間	13:00～16:00 (受付 12:30～15:30)
場所	阿見町総合保健福祉会館 さわやかセンター

弁護士相談 (要予約)	
相談日	毎月第1水曜日 (月1回)
時間	13:00～15:30
毎週水曜日の心配ごと相談にて事前にお話しを伺い、弁護士相談が必要な場合に予約となります。	

福祉相談・介護相談・ボランティア相談	
常時受け付けています。それぞれの担当者が親身になって相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。	

【問い合わせ】 887-0084

編集後記

今年度も米寿・初高砂を迎えられた皆さまの記念写真の撮影を行いました。毎年、たくさんの笑顔に立ち会うことができることを幸せに思っています。皆さま、これからもお元気でお過ごしください。



木目込み人形の作成

宗玲趣味の会

社協・善意銀行へ寄付でいただいた木目込み人形キットが、まほろばで活動している手芸サークル「宗玲趣味の会」のみなさんによって、すばらしい人形に姿を変えました。

木目込み細工はみなさん初挑戦だったとのことですが、初めてとは思えない出来栄です。普段は編み物を中心に活動されているそうです。



阿見社協の情報については、ホームページもご覧ください。社協の最新情報や、グループホームの利用状況などがご覧いただけます。
<http://www.amishakyo.or.jp/>

